

ファム・ビン・ミン副首相・外務大臣
北東アジア局日本課の皆様

離任にあたり「友好勲章」を受賞したことは、非常に光栄であり、心より感謝を申し上げます。

特に、この「友好勲章」授与は、尊敬する「チャン・ダイ・クアン元国家主席」により決定されたものであり、とても嬉しく思います。

3年5か月の任期中、APEC ダナン首脳会議、約250もの日越外交関係樹立45周年記念行事など、思い出深い出来事が数多くありました。たくさんの要人往来もありました。

その中で、何より印象深く、日越関係に大きな意義を与えた行事は、2017年の天皇皇后両陛下の初のベトナムご訪問、そして2018年のチャン・ダイ・クアン国家主席御夫妻の国賓訪問です。

天皇皇后両陛下は、昨年ご退位されました。

ベトナムは、天皇皇后両陛下にとっての最期の外国訪問先であり、クアン国家主席ご夫妻は、両陛下にとっての最期の国賓でした。

私に対する「友好勲章」授与は、クアン国家主席の国賓訪日の際、東京で行われた「外交関係樹立45周年記念レセプション(2018年6月)」に併せて決定されたと伺っています。

その後、友好勲章の授与のタイミングについて、北東アジア局の皆様を通し、数回提案をいただきました。

しかしながら、日越間には、投資やODAに関して多くの課題が次から次と発生していたことから、それを解決・前進させてからでないと、「勲章」は受け取れないとお断りした経緯があります。

幸いなことに、日越両国政府の緊密な協力により、この2年半ぐらいの間に100以上の懸案事項が解決しました。特に、昨年11月の日越首脳会談（バンコク）において、2年半中断していた新規円借款プロジェクト再開が合意され、無償資金協力、技術協力も正常化できたことは、本当に良かったと感じています。

問題解決にあたり、フック首相、マイ・ティエン・ズン官房長官をはじめとする首相府の皆様、また、ミン副首相外務大臣、チュン次官をはじめとする外務省の皆様の御尽力がありました。

ベトナムは、安全保障、経済、人的交流などすべての面において、この地域で日本における最も信頼できるパートナーです。

離任を目前とし、「叙勲」を受け取ることができる日を迎えることができたことを大変嬉しく思うとともに、懸案解決にご尽力いただいたベトナム政府の関係者の皆さまに心より感謝を申し上げたいと思います。

なお、先般、妻と共に故クアン国家首席の自宅を訪れ、霊前に線香をささげるとともに、ヒエン夫人に離任の挨拶をさせていただきました。

最後に、長年私の外交活動を支えてくれた「妻」に感謝を申し上げるとともに、ベトナムと日本の関係が今後更に強化されること、世界がコロナウイルスを早期に解決されることを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。